



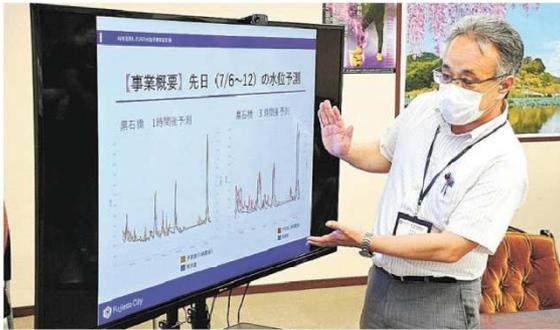
Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年7月29日朝刊 中部版



## AIで河川水位予測

藤枝市豪雨備え実証実験

藤枝市やソフトバンク、ウェザーニューズなどほこのほく、人工知能（AI）を活用した河川水位予測の実証実験を開始した。

近年、豪雨災害が全国で多発している状況を踏まえ、水防体制を強化し、住民の避難行動を促すシステムの構築を目指す。市内12の中小河川に水位計を設置し、水位や雨量、気象のデータなどを活用しながらAIが3時間後までの河川水位を予測する。7月下旬から11月末まで運用し、予測の精度などを来年度までに評価分析する予定。

### 避難システム構築を目指す

に選定された全国15地区を対象とした「スマートシティ実証調査」の受託事業。市水害対策室の井原豊室長は「ゆくゆくは市民がスマートフォンなどで状況を自ら確認し、自主的な避難準備につながるシステムを構築したい。河川ごとの水位変化の特徴をつかめれば、河川の氾濫前に先手の対策が打てるはず」と強調した。

①AI(人工知能)で何時間後までの河川水位を予測しようとしていますか。

( ) 時間後まで

②AI(人工知能)はどのようにして河川水位を予測しますか。

( )

③AI(人工知能)を使うシステムをつくることによって、市民の避難行動はどのように変わると考えられますか。40字以内で書きましょう(句読点を含みます)。


年 組 名前

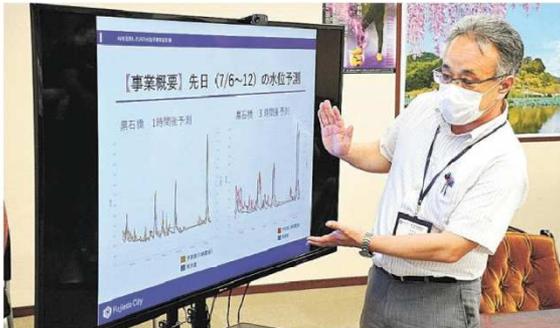
作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／総合、特別活動)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年7月29日朝刊 中部版



に選定された全国15地区を対象とした「スマートシティ実証調査」の受託事業。  
市水害対策室の井原豊室長は「ゆくゆくは市民がスマートフォンなどで状況を自ら確認し、自主的な避難準備につながるシステムを構築したい。河川ごとの水位変化の特徴をつかめれば、河川の氾濫前に先手の対策が打てるはず」と強調した。  
(藤枝支局・寺田将人)  
AIを活用した河川の水位予測のクラウド「藤枝市役所

## AIで河川水位予測

### 避難システム構築を目指す

近年、豪雨災害が全国で多発している状況などを踏まえ、水防体制を強化し、住民の避難行動を促すシステムの構築を目指す。市内12の中小河川に水位計を設置し、水位や雨量、気象のデータなどを活用しながらAIが3時間後までの河川水位を予測する。7月下旬から11月まで運用し、予測の精度などを来年3月までに評価分析する予定。

藤枝市やソフトバンク、ウェザーニューズなどほこのほく、人工知能(AI)を活用した河川水位予測の実証実験を開始した。

藤枝市豪雨備え実証実験

①AI(人工知能)で何時間後までの河川水位を予測しようとしていますか。

( 3 ) 時間後まで

②AI(人工知能)はどのようにして河川水位を予測しますか。

( (水位計を設置し、)水位や雨量、気象データなどを活用して予測する。 )

③AI(人工知能)を使うシステムをつくることによって、市民の避難行動はどのように変わると考えられますか。40字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

市民がスマートフォンなどで状況を自ら確認し、自主的な避難準備ができるようになる。(40字)

河川の氾濫前に先手を打って市民が自主的な避難行動をとれるようになる。(34字) など

年 組 名前